

第3回呉市移動円滑化基本構想検討協議会 摘録

- 1 日時 令和4年11月2日（水）10時～10時50分
- 2 場所 呉市役所本庁舎 2階防災会議室
- 3 概要・骨子

10:00 【開会】	
【江田副市長 挨拶】	<p>皆様，おはようございます。本日はご多忙の所ご出席賜りまして，誠にありがとうございます。</p> <p>従前の呉市移動円滑化基本構想は，約20年前に作成した計画で，20年ぶりの見直しということで，昨年度から検討を進めてまいりました。</p> <p>前回の協議会では計画の素案をお示しし，皆様から御意見を頂戴しました。その後，パブリックコメントや呉市議会への報告を行い，御意見を頂戴しましたので，その内容を踏まえ，今回，基本計画の案としてとりまとめしております。</p> <p>本日も限られた時間ではありますが，忌憚のない御意見を頂戴できればと思っております。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
【新構成員紹介】	資料1 呉市移動円滑化基本構想検討協議会構成員名簿
10:05 【議題の説明】	議題 (1) 呉市バリアフリー基本計画（素案）に対する意見募集等の結果について（報告）
10:15 【意見交換】	〔神田座長〕 パブリックコメントや呉市議会，庁内から多くの意見をいただいております，バリアフリーに対する関心の高さを伺い知ることが出来る。 意見等に対して修正を行っており，本日お示ししているものが最終の案となるが，御意見をいただきたい。 また，最後の協議会となるので，御感想などもあればお願いしたい。

○ 子育て支援センターを利用されている方や、子育てサークルの方に御意見をいただいているので紹介する。

児童公園について、健康遊具の設置が増えている傾向にあるが、未就園児が安心して遊べる遊具が少なく、遊べる場所がないとの意見をいただいている。

健康遊具も良いと思うが、小さなお子様連れの家族と高齢者の方が一緒に集えれば、そこでふれ合いや交流が出来るのではと考える。

学校の総合的な学習の時間で、盲導犬の体験学習や車椅子体験、命の大切さについて授業が行われているが、幼稚園や保育園で行うことも必要であり、私達も学ぶ必要があると考える。子育て支援センターでも障害者の方々の講話等を行っていききたいと考える。

街の絵の中に子供や高齢者の方々、家族等が描かれていることがあるが、その中に盲導犬を連れている方や、視覚障害者の方が白杖を持っている様子等が描かれていれば良いという意見をいただいている。色々な人がいるという事が視覚的にも認識でき、色々な人がいて当たり前であることが分かるポスター等が増え、住みやすい呉市になればよいと考える。

以上が、いただいた御意見です。

⇒〔神田座長〕

バリアフリーが誰の為にあるのかという視点で捉えた時に、子育て世代等をどう考えていくかという所である。事務局如何か。

⇒〔事務局〕

御意見のとおり小さな子供が遊べる場所が少ない環境であるが、いただいた御意見を参考に担当課と調整しながら今後検討していきたい。

⇒〔神田座長〕

計画に基づく施策の展開において、いただいた意見を意識しつつ、表現していくことになろうかと考える。また、時代の流れにより捉え方も変わっていくものとする。

○ このような協議会に参加させてもらい、非常にありがたいと感じている。

良い計画が出来ているが、途中で進捗状況の報告等は行うのか。

⇒〔神田座長〕

事務局如何か。

⇒〔事務局〕

本計画は令和9年に中間評価を実施し、必要があると認められる場合に計画の見直しを行い、最終目標年次の令和14年まで取り組んでいく。

○ 市民代表として協議会に声を掛けてもらい感謝している。バリアフリーに関して意識が高められ、良い経験が出来たと考える。

障害のある方や高齢者の方が、危険だから外出したくなくなるのではなく、誰もが移動しやすく、外出したくなるような街になれば良いと考える。

私も子育てをしており、バスを利用する際に子供を抱え、ベビーカーを持って乗車するが、一連の動作が非常に苦痛である。座席を確保するにも、人が多い場合は優先席に学生が座っていることもよく見かける。

小学生に限らず、高校等の授業でもバスの中でのマナー向上等についてより一層取り組んでもらい、心のバリアフリーに繋げてもらいたい。

⇒〔神田座長〕

本計画にも教育啓発について記載されているが、学校だけではなく、社会全般も含めて、これまでアプローチ出来ていなかった世代にも計画に基づく展開を意識していければ良いと考える。

○ 新型コロナの影響で最近は実施していないが、バスの車内でのマナーアップについては、毎年4月に新入生等が増えるので、公共交通のマナーアップキャンペーンを行政と一緒にっており、今後も取り組んでいきたい。

また、乗務員教育やノンステップバスの導入についても引き続き取り組んでいきたい。

計画書本編の41ページに記載されている案内看板等についても、外国人を対象にした多言語表示や、旅行者に対する情報発信に取り組んでいきたいと考えており、行政にも御協力をお願いしたい。

バスの乗降しやすい環境として、バス停のストレート化や縁石の改良等を行い、環境施設の改善にも取り組んでいただきたい。

⇒〔神田座長〕

色々な対策を突き詰めて行けば、また新しい課題も出てくると思うが、行政と民間が連携し、移動したくなる呉が実現できればよいと考える。

○ 計画にはこの先10年間の構想についてまとめられており、非常に分かりやすい。

交通事業者として、地域の御意見をいただきながら、色々なサービス改善に取り組んでいきたいと思う。

重点整備地区のJR吉浦駅周辺地区については、協議会やまち歩きでも良い所や悪い所について御意見をいただいている。

呉市を始め、関係者の皆様と調整しながらこれからの取組も考えていきたい。

○ 国道31号や185号の整備が主な担当になるが、今回は新たに重点整備地区に位置付けられたJR吉浦駅前面の国道31号が関係してくる。

道路整備はまちづくりの一環になるので、道路管理者が一方的に実施するのではなく、住んでいる方の意見や、呉市としてどのようにまちづくりを行っていくのか等をよく聞きながら、整備に反映させていきたいと考える。

バス停にしても縁石や形状等、色々御意見があるので、しっかりと御意見を聞いて、皆様が利用しやすい道路に出来ればと考える。

⇒〔神田座長〕

整備の方法も色々があると思うが、その時、その場所で何が良いのかということを経験の方々と対話しながら、連携して進めてもらいたい。

○ 昨年12月に行われたJR吉浦駅周辺のまち歩きは、普段気付かない所や、移動する際の障害の多さを改めて意識させてもらい、貴重な体験であった。県の道路を整備していく中で、バリアフリーを意識した施設整備を引き続き行っていきたい。

本計画の重点整備地区には、広島県が実施する道路特定事業は位置付けされていないが、国や市、他の事業者が行う事業について関連する事項があれば協力していきたい。

⇒〔神田座長〕

道路管理者も国、県、市とあるが、今後も連携して円滑な整備が進めばと考える。

○ 横断歩道のエスコートゾーンについて説明させていただく。去年は国道185号沿いに1箇所設置しており、今年度も何箇所か設置する予定である。

エスコートゾーンは耐久性や予算面での問題もあるため、多くの箇所に設置することは出来ないが、来年度も引き続き増やしていきたいと考える。

⇒〔神田座長〕

エスコートゾーンについては、協議会でも早い段階で出てきたキーワードである。予算面等の問題もあろうかと思うが、引き続きお願いしたい。

○ パブリックコメントにもあったが、市道と公園の管理者として、特定事業の実施については、可能な限り早い時期に対応していきたい。また、位置付けられていない事業についても維持管理を含め、バリアフリーやユニバーサルデザインの観点で整備を行っていきたい。

	<p>児童公園について御意見があったが、遊具については老朽化の補修や点検，更新も行っており，これからも色々な御意見をいただきながら，取り組んでいきたい。</p> <p>⇒〔神田座長〕</p> <p>引き続き，市民の方々とコミュニケーションをとりながら，良い街が出来ればと考える。</p>
<p>10:40 【欠席構成員意見代読】</p>	<p>〔事務局〕</p> <p>計画作成に際し，昨年12月にJR吉浦駅周辺地区において，福祉団体や協議会構成員，地元住民，施設管理者と共に「まち歩きによる点検」を実施し，各施設のバリアフリー化の状況について意見交換を行い，利用者の意見を取り入れた特定事業を計画に位置付けたことは，素晴らしいことである。</p> <p>また，パブリックコメントにおいて，多数の意見が寄せられていたが，これは市民の皆様のバリアフリーに対する関心が非常に高いと感じており，その意見を計画に反映したことで，皆様が納得出来る計画になったのではと考える。</p> <p>駅のバリアフリー化については，非常にお金の掛かることであり，JR新広駅やJR安芸阿賀駅は良い時期に整備することが出来たと感じており，他の駅についても経済状況が厳しい現状ではあるが，バリアフリー化を進めてもらいたい。</p> <p>今回の計画は，駅中心のみならず，交通結節点であるバス停を中心にしたエリアを設定したことも，今後，高齢者が増えるであろう地区へ目を向けていく，良い切っ掛けになったと考える。</p> <p>〔事務局〕</p> <p>計画を作成するに当たり，構成員として参加できたことは良い経験となった。</p> <p>構成員として，何点か意見もしたが，他の構成員の意見を伺うことができ，施設管理者には計画へ反映していただくなど，感謝している。</p>

	<p>計画作成後は、本計画に基づき、事業を実施していくことになるが、各施設管理者においては、長期に位置付けてある特定事業についても可能な限り、早期の実施をお願いしたい。</p> <p>本計画が市民の皆様のみならず、呉市の職員の方々や関係者の皆様にも十分に理解していただき、呉市が住みみやすい街になるようにしてもらいたい。</p>
<p>10:43 【オブザーバー意見】</p>	<p>前回は申ししたが、3回の協議会を開催し、皆様に御意見をいただきながら計画を作成してもらい感謝している。マスタープラン（促進方針）と基本構想の同時作成というケースはあまり無いので、好事例として紹介できるものである。</p> <p>心のバリアフリーについて色々と御意見があったが、今年6月には本省でガイドラインを作成しており、これまで以上に心のバリアフリーの取組を進めていかなければと考えている。</p> <p>心のバリアフリーの取組はハード整備に比較すると、予算も掛からず、方法次第で色々な取組が出来ると考える。ガイドラインには全国の取組事例が掲載されているが、これから全国的にも沢山の事例が出てくると思うので、ホームページ等で公表するなどしていきたい。</p> <p>子育て関係では、今月、タクシー協会と連携して、講習会等にも取り組んでいる。マナーアップキャンペーンの話もあったが、新型コロナの影響で3年間実施出来ていないが、状況を踏まえながら検討していきたい。</p>
<p>10:45 【まとめ】</p>	<p>〔神田座長〕</p> <p>他に御意見が無ければ、「呉市バリアフリー基本計画（案）」について、原案どおりとしたいと思う。</p> <p>今後は、この案を基に事務局で最終決定してもらい、呉市のバリアフリーの更なる推進に努めていただきたい。</p>
<p>10:47 【部長挨拶】</p>	<p>都市部長の荻野でございます。</p> <p>閉会に当たりまして、一言、御挨拶申し上げます。</p>

本日は、お忙しいところ、本協議会に御出席いただきとともに、貴重な御意見を賜りまして、心より御礼申し上げます。

第2回協議会におきましても申し上げましたが、本計画の特徴は、促進方針を作成し、呉市全体の方針をお示ししますとともに、先程委員の皆様から御意見をいただきました心のバリアフリーの取組を計画に位置付けたことであると考えております。

今後につきましては、市議会への報告などの最終調整を行いまして、公表への作業を進めてまいります。

本計画が、市民の皆様や各事業者と共に、計画的に、また、着実に実施できるよう努めてまいりたいと考えております。

本協議会は昨年6月に設立いたしまして、本日を含め3回の協議をさせていただきました。

構成員の皆様方におかれましては、公私とも、大変お忙しいところ、長きに亘って御協力いただきますとともに、貴重なご意見をいただきましたことに対しまして、事務局一同、心より感謝申し上げます。

計画は作成することが目的ではなく、作成後に、如何にして実施に移していくかが重要であると考えております。

実施に当たりまして、今後、皆様方にご相談させていただくこともあるとは存じますが、その際には、忌憚りの無い御意見をいただき、私どもを御指導いただければと思っております。本日は、誠にありがとうございました。

10:50
【閉会】